

IR 事業説明会 情報通信ソリューション事業

Communications Solutions Division

2017年6月7日

情報通信ソリューション統括部門長

中村俊一

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

古河電工

情報通信ソリューション統括部門

ファイバケーブル
事業部門

ファイテル製品
事業部門

ブロードバンドソリューション
事業部門

国内外関連会社

OFS

FEL

岡野電線

BTC

正電社

TFOC

成和技研

FOSI

古河ファイテル
オプティカルデバイス

FFT

FFOS

ミハル通信

TFU

古河C&B

古河ネットワーク
ソリューション

| 事業 | 注力製品 | 用途 | 主な顧客層 | 主要エリア |
|-----------|--|--|---|-------------|
| ファイバ・ケーブル | <ul style="list-style-type: none"> ・海底ケーブル、長距離用低損失ファイバ ・構内/宅内用低曲げ損失ファイバ | 通信事業 映像伝送 データセンタ  | <ul style="list-style-type: none"> ・通信キャリア ・CATV事業者 ・OTT | 欧米、南米、東南アジア |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ローラブルリボンケーブル  | 通信事業 映像伝送 データセンタ  | <ul style="list-style-type: none"> ・通信キャリア ・CATV事業者 ・OTT | 国内、北米 |

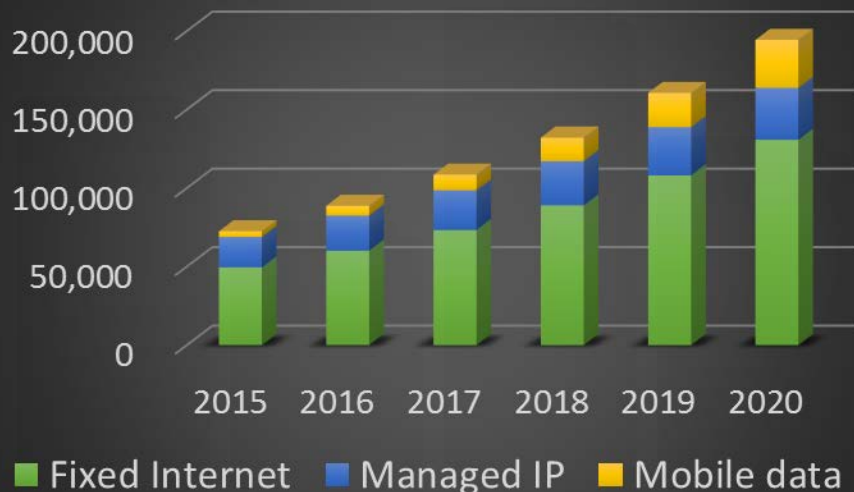
主要製品・用途・顧客層

| 事業 | 注力製品 | 用途 (特長) | 主な顧客層 (市場) | 主要エリア |
|------------|--|---|--|--|
| ファイเบอร์製品 | <ul style="list-style-type: none"> 波長可変レーザーモジュール (ITLA)  | <ul style="list-style-type: none"> デジタルコヒーレント信号光源 | <ul style="list-style-type: none"> システムベンダー 伝送装置メーカー | <ul style="list-style-type: none"> 北米、中国 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 光ファイバ融着機  | <ul style="list-style-type: none"> 通信工事 優れた操作性 小型軽量 価格低減 光部品工場 高機能 高品質 | <ul style="list-style-type: none"> 通信工事会社 光部品メーカー 研究機関 <p>全ての融着シーンに合わせたラインナップ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 国内、欧米、中国、東南アジア |

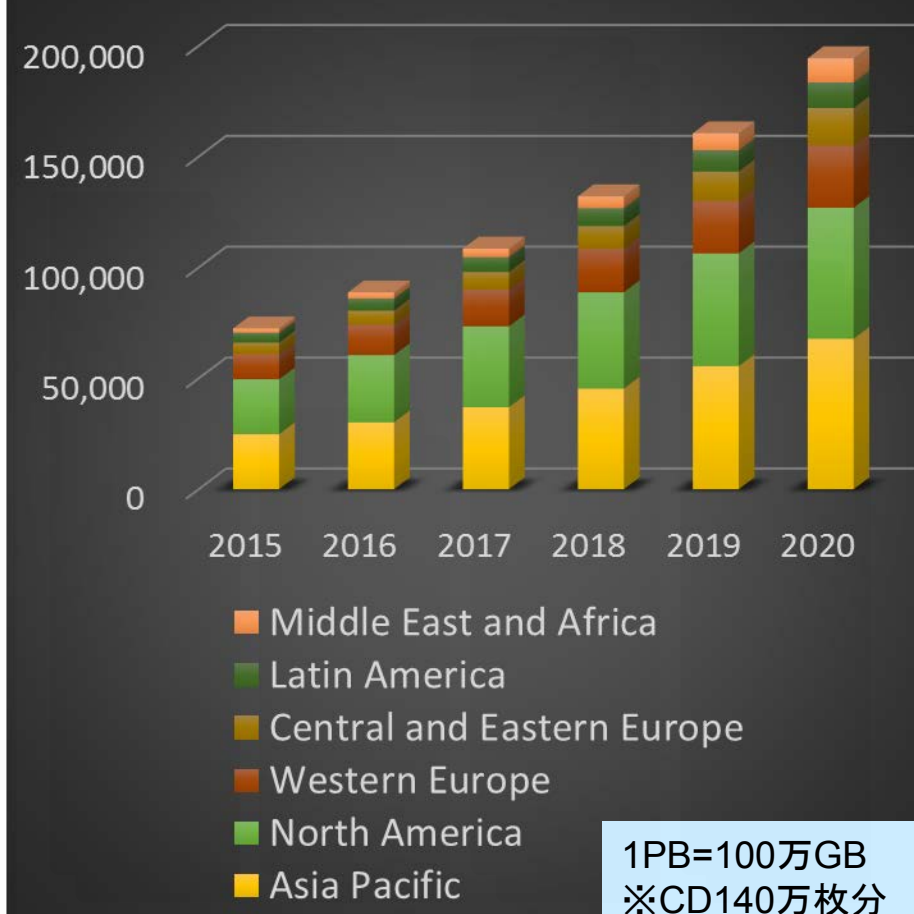
| 事業 | 注力製品 | 用途 (特徴) | 主な顧客層 | 主要エリア |
|--|--|---|---|-------|
| ブロードバンドソリューション | <ul style="list-style-type: none"> FTTHシステム機器  | <ul style="list-style-type: none"> 通信サービス 放送サービス 設計、施工 | <ul style="list-style-type: none"> CATV事業者 自治体 通信事業者 | 国内 |
| | <p>2020 東京五輪</p> <p>➤ 足元のFTTH投資活況</p> <p>CATV事業者の4K・8K対応を見据えた 高度BS化 ～平成29年度 総務省補助金「ケーブルテレビ光化促進事業」～</p> | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ネットワークルータ  | <ul style="list-style-type: none"> 高速・大容量通信サービス VPN構築 | <ul style="list-style-type: none"> 通信事業者 一般企業 | 国内 |
| <ul style="list-style-type: none"> FBS (Furukawa Broadband System) FCS (Furukawa Cabling System) 工事対応 | <ul style="list-style-type: none"> FTTH機器ソリューション LANソリューション 設計、施工 | <ul style="list-style-type: none"> ISP ディストリビュータ 一般企業 | 中南米、東南アジア、MEAなど | |

IPトラフィックは拡大が続く（2015-2020）

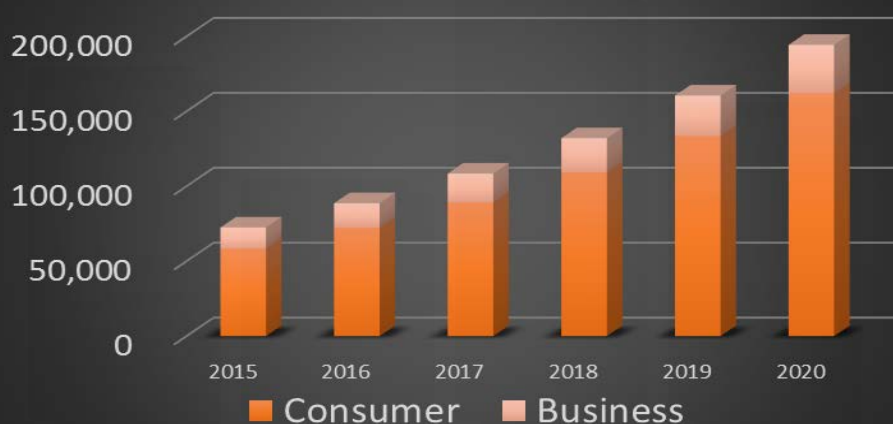
By Type (Petabytes [PB] per Month)



By Geography (PB per Month)



By Segment (PB per Month)



1PB=100万GB
※CD140万枚分

出典 Cisco VNI Forecast and Methodology, 2015-2020

事業戦略 光ファイバのラインナップ

海底用 新ファイバ
400G伝送対応
世界最高水準の
低損失とAeff達成

MDU/IHW
AllWave FLEX Max
EZ-Bend

TeraWave SLA+
TeraWave ULA
TeraWave SCUBA
Transoceanic

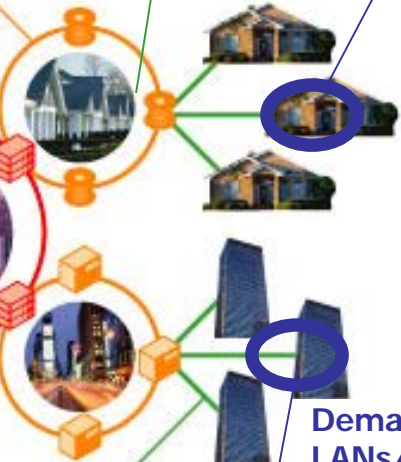
AllWave® *
AllWave® FLEX
AllWave® FLEX +
Metro Edge
AllWave® *

Demanding
LANs/SANs

LaserWave FLEX
LaserWave FLEX WB

Metro Access
AllWave® *
Premises
LaserWave FLEX
AllWave FLEX
AllWave FLEX +

データセンター向け
波長多重対応の新
マルチモードファイバ



Long Haul
TeraWave
TeraWave ULL

Regional
TrueWave® REACH
TrueWave® RS/LA

Metro Express
TrueWave® RS/LA

陸上長距離用
低損失新ファイバ
400G伝送対応

* AllWave® には、AllWave One、AllWave +、AllWave LL、Standard AllWaveがある

構内/宅内系 低曲げ損失 施工容易



- Excellent macrobend performance
- Easy to install solutions

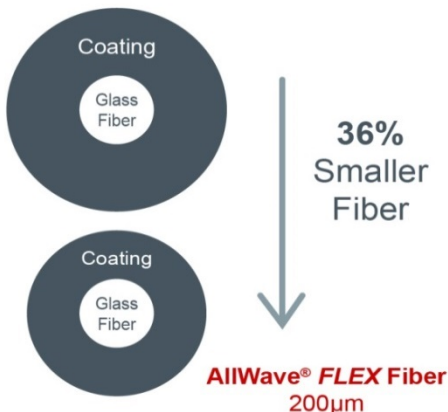


融着型現場付けコネクタ (SOC*)への展開

中短距離系 多心・細径・低損失 低曲げ損失



- High density cable designs favor improved macrobend performance, lower loss and smaller diameter fibers

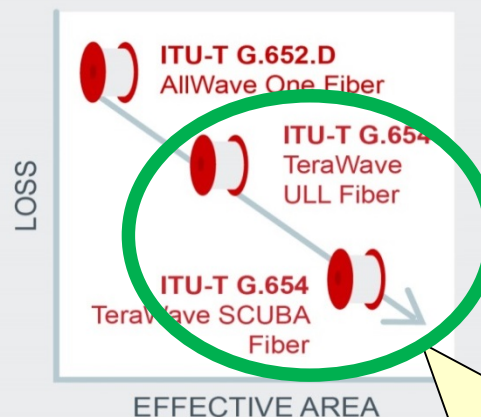


200μmファイバの超多心ケーブルへの展開

長距離系 超低損失 Aeff拡大

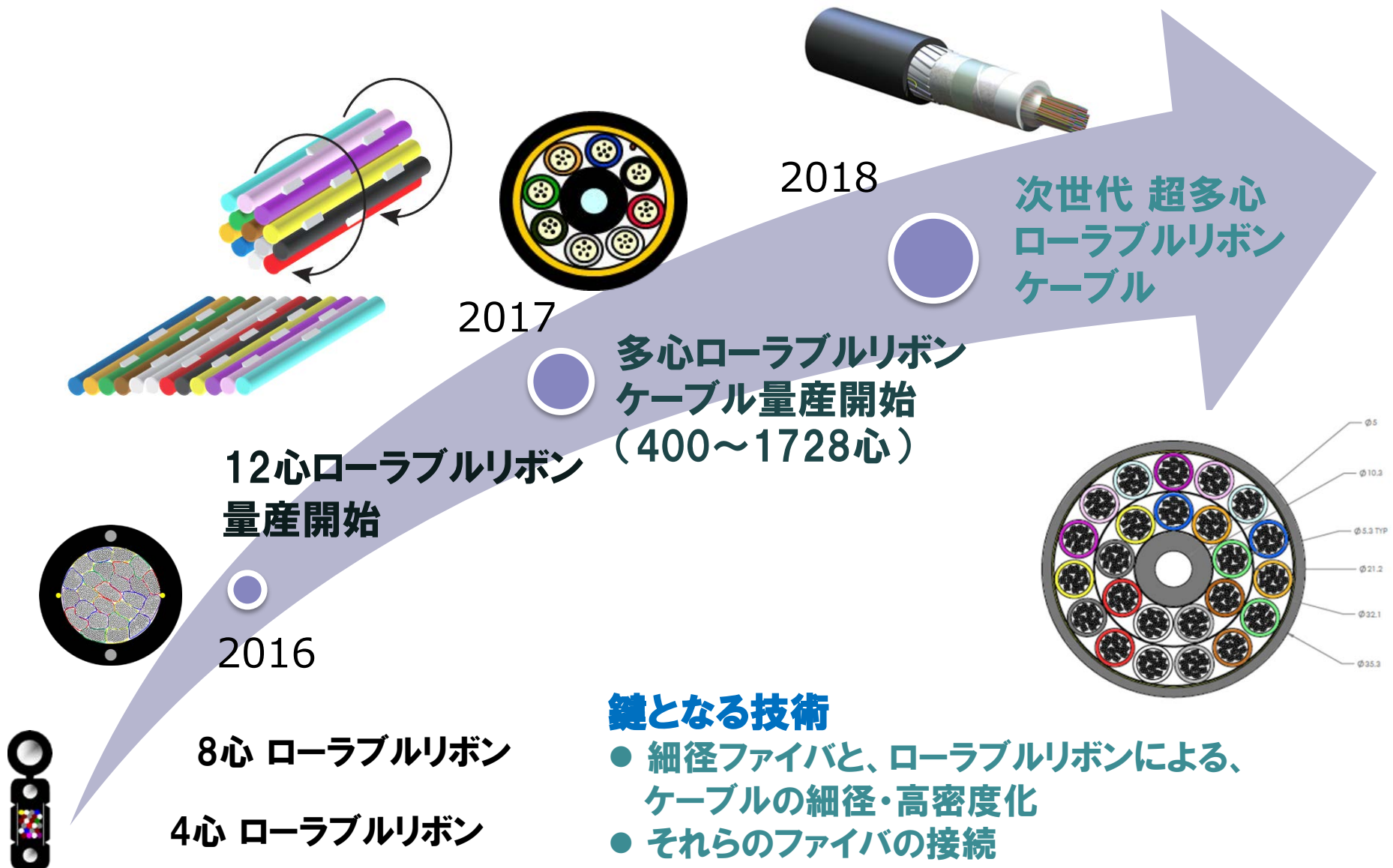


- Coherent transmission systems favor lower loss and higher effective area



2016年度 陸上長距離、海底用にリリース

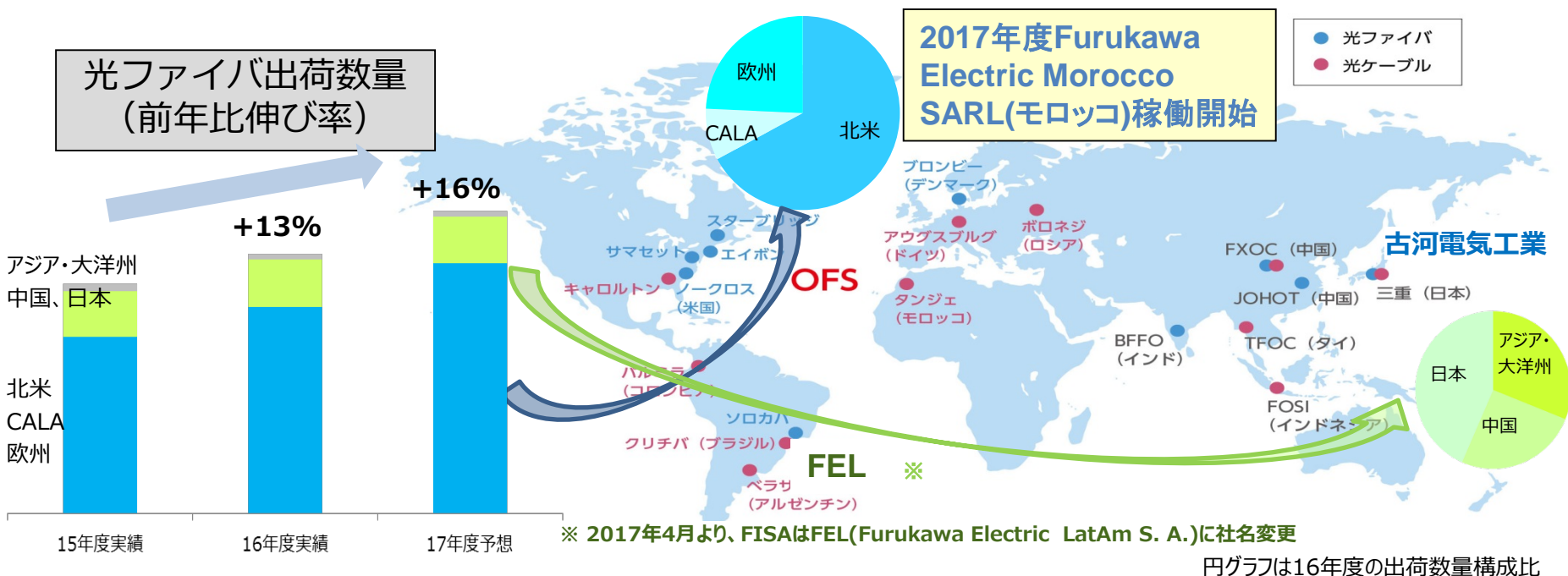
*Splice On Connector



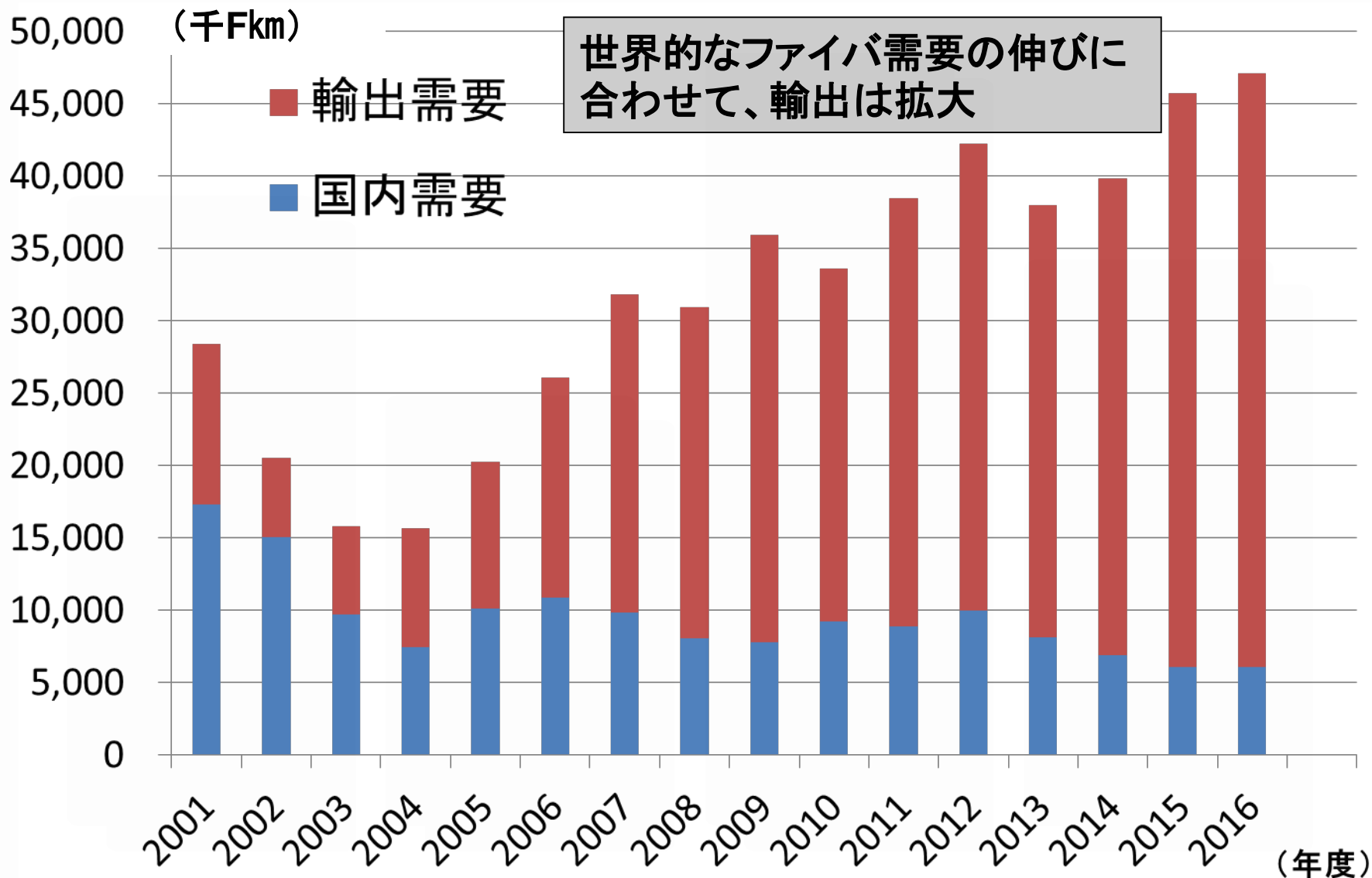
1. 光ファイバ・ケーブル事業におけるグローバル体制強化

旺盛な需要環境・顧客要望に対し、グループ内「シングルマネジメント体制」を構築

- グローバル戦略に基づき、日本・米国・インド3拠点のファイバ工場の生産・供給配分を一括で管理するグローバル体制を確立
- 各地域の顧客要求に、各ケーブル拠点をベースに柔軟に対応
- 需要動向に合わせ、光ファイバ生産能力増強を推進
(15年度初め～現在までに約2割、今後18年度初までにさらに約2割の能力増を計画)



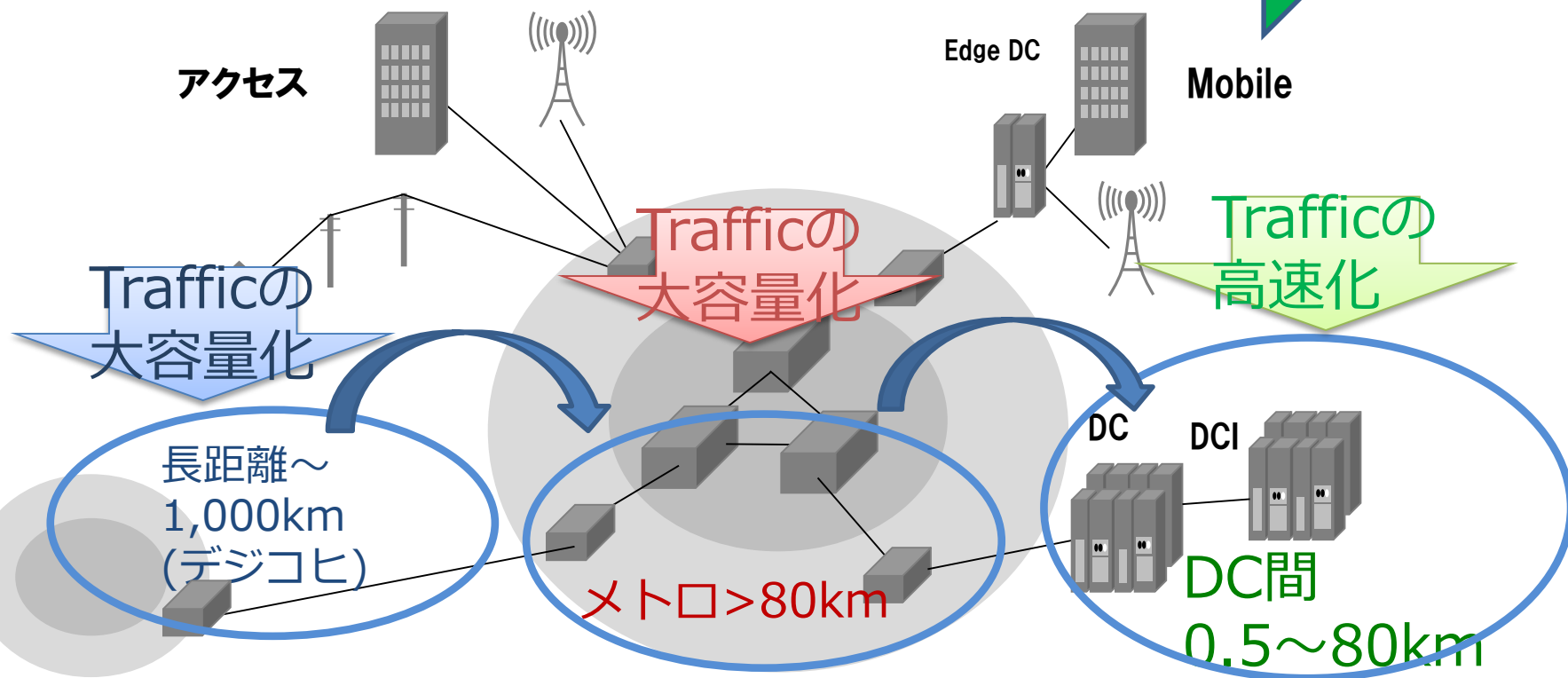
国内光ファイバ 内外需要の推移



出典: 日本電線工業会資料より推定

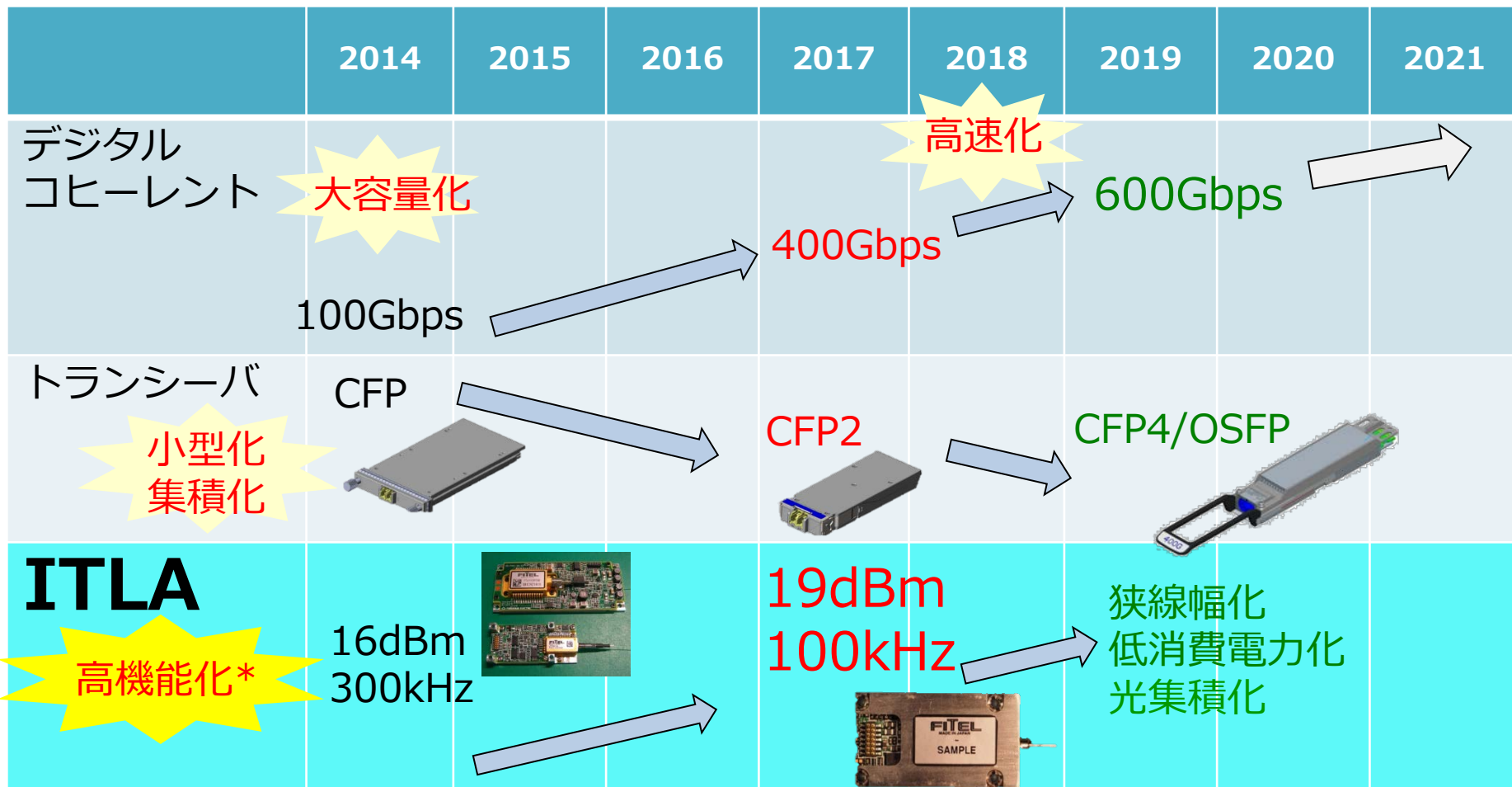
ITLAマーケットの広がり

デジタルコヒーレント方式の拡張



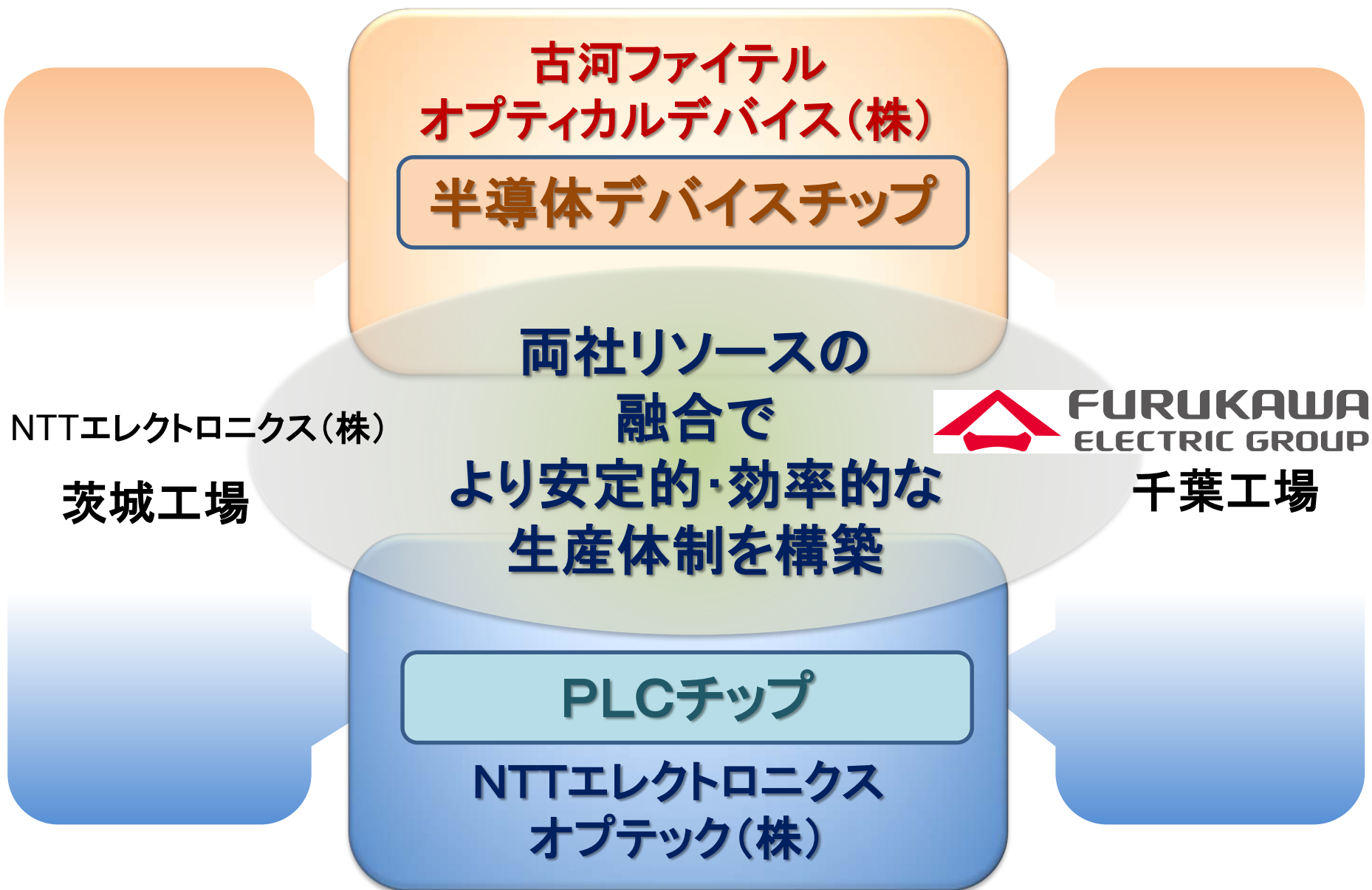
Trafficの大容量化に伴うメトロ領域への拡大に加え、高速化によるDC間領域への拡大により更なる市場の成長が見込める 当社調べ

ITLAロードマップとデジタルコヒーレントの動向

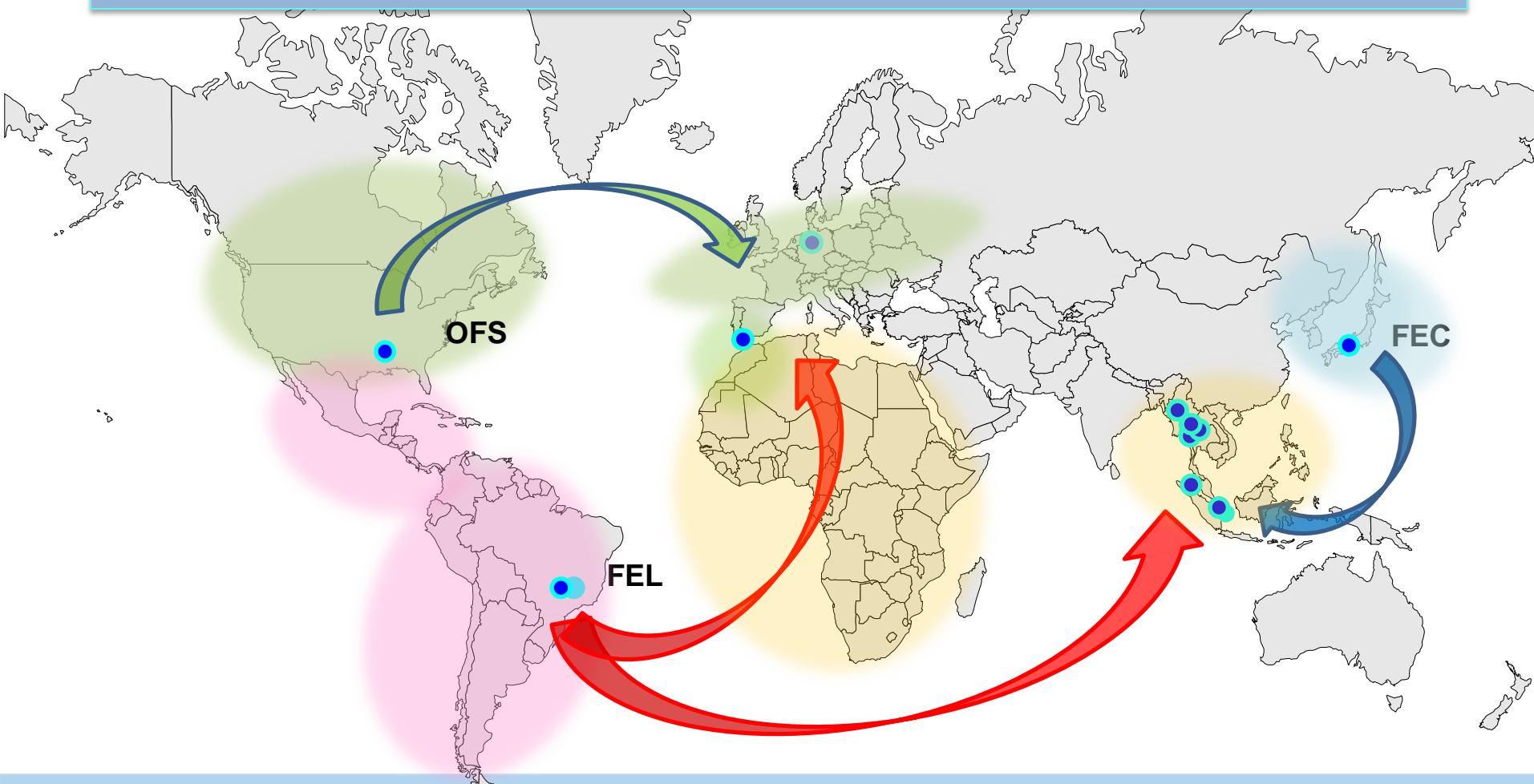


*
高出力
狭線幅
低消費電力

(当社調べ)



現在、中南米・東南アジア・MEAを中心に
ソリューション事業展開中



(単位：億円)

| | 16年度 | 17年度 | |
|-------|-------|-------|-------|
| | | | 前年比 |
| 売上高 | 1,685 | 1,750 | 104% |
| 営業利益 | 142 | 143 | 101% |
| 営業利益率 | 8.4% | 8.2% | ▲0.2% |

2017年度 □:増益要因、■減益要因

□ 北米を中心とした光ファイバ需要は堅調に推移

□ デジタルコヒーレント関連製品の需要も堅調

■ 光ファイバやデジタルコヒーレント関連製品の設備・研究開発投資が増加

■ 円高が売上、営業利益に影響

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  *Innovate*